

「生健会」北九州ブロックが、市長に提出した予算要望書は次のとおりです(一部抜粋)

北九州市長 北橋健治 様

市民が安心して暮らせる住みよい街を
2019年度予算編成に当たっての要望書

2018年8月20日

生活と健康を守る会 北九州ブロック協議会

1、高齢者・障害者のために

- ①一人暮らしの孤独死・孤立死を防ぐため、「いのちをつなぐネットワーク」事業の充実をはかり、地域の見守り対策と孤独死防止対策を充実させてください。
- ②高齢者の社会参加を促進するために、路線バス、JR、モノレールなどで使える敬老無料パス制度をつくってください。減額された敬老祝い金は平成25年以前に戻してください。
- ③高齢者、障害者の熱中症対策のため、エアコン購入、電気代補助など市独自の制度を創設してください。
- ④年長者施設利用証の3割負担を元の無料に戻してください。
- ⑤障害を持つすべての人が地域で生活し、活動できるようグループホーム、ケアホームなどの施設の設置など対策を充実してください。

2、介護保険制度

- ①介護保険料を軽減し、低所得者に対する減免制度の改善をしてください。
- ②低所得の市民も必要な介護サービスを利用できるように、利用料の減免制度をつくってください。利用料の引き上げで負担を増やさないようにしてください。
- ③介護サービス利用を抑制する認定制度を改善し、要支援1, 2該当者のサービスが下げられることのないよう「地域支援事業」を元に戻すように国に要望してください。介護利用者が希望する、家事援助、身体介護援助のサービスを充実させてください。

- ④重度の人ほど高い介護利用料の軽減をしてください。
- ⑤特別養護老人ホーム、養護老人ホームなど低料金で入所出来る施設を増設し、待機者をなくしてください。
- ⑥無年金・低年金など所得が少ないために、保険料を滞納していた要介護者に対してペナルティーを行わないでください。

3、国民健康保険・後期高齢者医療

- ①国保の広域化で保険料の負担が増えないようにしてください。高すぎる保険料は低所得者の生活実態に合わせて引き下げてください。
- ②必要な医療が受けられるように資格証をやめて保険証を交付してください。
- ③医療費窓口一部負担金減免の制度は、所得の低い人が使いやすい制度となるように改善してください。
- ④保険料滞納者の差し押さえを行わないでください。

4、安心できる医療体制

- ①市立病院でも、低所得者で生活に困窮している人に無料・低額診療を実施してください。
- ②子どもの医療費助成制度を拡充し、自己負担額を無くし、中学校卒業までの医療費を無料化してください。
- ③インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種の無料化をしてください。さしあたって肺炎球菌ワクチンの予防接種料金を減額してください。小児のインフルエンザ予防接種の負担軽減を実施してください。

5、生活保護

- ①2018年10月からの生活保護基準引き下げを行わないように、国に要望してください。
- ②生活保護が市民のセーフティネットであり、利用することは法的権利であることを明確にし、申請書は各福祉事務所のカウンターに置いてください。生活保護の実施にあたっては、申請権、受給権の侵害をしないようにしてください。面接時間を短くしてください。
- ③扶養義務者に対する調査や通知については

扶養することが保護を受ける前提や要件でないことを明らかにし、申請者の同意や家族関係、扶養義務者との関係も十分に配慮し、強要をしないでください。

- ④12カ月ごとの資産申告書の強要はやめてください。申告は資産の変動があったときに限定し、人権侵害の現金の確認や通帳の提出はやめてください。
- ⑤熱中症対策も含めた夏季加算の新設を国に要望してください。必要性、緊急性の観点から北九州市独自で夏季の電気代の補助を創設してください。2018年4月以前のエアコンがない利用者、壊れた利用者にも一時扶助で支給出来るようにしてください。
- ⑥保護申請者の決定までの期間は、法律で定められた14日以内を守ってください。
- ⑦就労指導は、自立助長につながるように、本人の心身状態、適性などに十分配慮し、本人の意思に反した押しつけ・強制にならないよう、丁寧なケースワークでやってください。
- ⑧後発医薬品が体質に合わない人もいるので、後発医薬品使用を強制することはやめてください。
- ⑨「住生活基本計画」に沿った住居を確保できるように住宅扶助を福岡市並みに引き上げてください。共益費、管理費は住宅扶助で支給するよう国に要望してください。
- ⑩介護保険の利用にあたっては抑制することなく、ケアマネジャーの作成したケアプランを尊重してください。
- ⑪自動車の保有、使用の条件を緩和してください。日常生活用具に含まれるバイクについては、基本的に保有が認められていることを周知徹底させてください。
- ⑫生命保険等の給付金、交通事故の慰謝料、年金遡及金などについて自立更生の費用があることを生活保護利用者に周知徹底してください。
- ⑬一人暮らしの保護受給者が死亡したときの家財処分料は、行政が負担してください。
- ⑭一時扶助等の申請時の2社以上の見積書の添付は改善してください。
- ⑮生活保護変更決定通知書を内容がわかりやすいように改善してください。

6、教育・子育て

- ①子どもの権利・人格を保障し、競争教育でなく、発達や能力がのびる教育、30人学級、少人数学級を実施してください。
- ②学校給食は食育としての責任を明確にし、給食



市長への予算要望書を提出
(左は小倉生健会の酒井順子副会長)市長秘書室にて

- 費を無償にしてください。民間委託はしないで自校方式にしてください。
- ③学童服、水着などを支給してください。就学援助のPTA会費、生徒会費、クラブ活動費を支給してください。
 - ④小中学校にエアコンを普通教室だけでなく、特別教室にも整備してください。
 - ⑤アトピー性皮膚炎、喘息について学校病の対象になるよう国に要請してください。
 - ⑥保育料を軽減し、無認可保育所への助成を増やし、保育を民間任せにすることや儲けの対象にする規制緩和は行なわないようにしてください。
 - ⑦給付型奨学金制度を創設し、無利子奨学金の枠を拡充し、保証人の基準を緩和してください。

7、働く場の確保・市住・その他

- ①高齢者や障害のある人の仕事の確保と拡充を図ってください。
- ②希望する市民が入居できるように市営住宅を便利なところに増やしてください。緊急枠を確保してください。
- ③下水道使用料金の減免制度を低所得世帯にも適用できるように拡充してください。
- ④ゴミ袋を無料にしてください。当面、値下げしてください。
- ⑤生活保護費が2018年10月から、3年間で段階的に引き下げられますが、北九州市の施策で、影響が出る制度は何かを具体的に示してください。また、影響の度合いについて市民の負担にならないよう具体策を講じてください。